

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1990100891
法人名	ツクイホールディングス
事業所名	ツクイ甲府富士見グループホーム
所在地	山梨県甲府市富士見2-2-26
自己評価作成日	令和 4 年 11 月 17 日
評価結果市町村受理日	令和 年 月 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/19/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会
所在地	甲府市北新1-2-12
聞き取り調査日	令和 5 年 1 月 13 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「常にお客様の立場に立ち心地よい暮らしをサポートいたします。」を理念とし、職員が一丸となってお客様の立場に立った支援を心がけています。調理・盛り付け・食器洗い・洗濯・掃除などの家事をできるお客様には行っていただき、ホームの中で役割を持ってその方らしく生活をしていただけるよう支援をしています。1日1回は外の空気にふれていただけるよう、天候やお客様の状態に合わせながら散歩や外気欲をしております気分転換にもつながっています。またその中で地域の方と挨拶を交わしたりして交流を深めるようにしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

利用者が、事業所内で一日中過ごすことがないように必ず1回は散歩に出る機会を設けています。このことにより利用者に落ち着きが見られ、帰省願望を口に出す方がいなくなっています。利用者の排泄の自立を目指して、オムツから布パンツへの移行を様々な取り組みの積み重ねから実現させています。また、排便の促進を薬に頼るだけでなく、乳酸菌飲料の活用や腸活運動、嚥下の体操などを導入して取り組んでいます。職員は利用者に対して絶えず否定せずに尊重することを念頭に、ケアに当たっています。こうした職員の姿勢は仕事がハードにならない、溜め込まないでいられるような勤務体制が重要視され、職員一人ひとりの状況に応じた働き方が整備されていることが背景としてあげられます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている(参考項目:2,20) (※窓越しの面会など距離をとった交流)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている(参考項目:49)(※感染対策を行い、可能な場所に出かけているか)(※戸外とは事業所の庭に出る等も含みます)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己評価および外部評価結果

事業所名 ツクイ甲府富士見グループホーム

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(雅)	ユニット名(華やぎ)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入職前に事業所の理念などをお伝えし、理解を頂いている。その理念を基本に統一したサービス提供に努めている。	入職前に事業所の理念などをお伝えし、理解を頂いている。その理念を基本に統一したサービス提供に努めている。	「常にお客様の立場に立ち心地よい暮らしのサポートをいたします」を事業所の理念に掲げ、理念に基づいたサービスの提供に心がけています。入職時には会社の理念、事業所の理念が説明されています。	事業所の理念に沿った素晴らしい介護が提供されています。明文化された理念は事業所内に掲示されることを望みます。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	天候やお客様の状態をみながら散歩に出かけている。川沿いの広場や地域の方などとの交流はしている。コロナ禍を考えた十分な距離をとってあいさつ程度での交流など制限を設けている。	天候やお客様の状態をみながら散歩に出かけている。川沿いの広場や地域の方などとの交流はしている。コロナ禍を考えた十分な距離をとってあいさつ程度での交流など制限を設けている。	自治会に加入されているとのことですが、コロナ禍の中で地域との交流はできていないとのことです。運営推進会議のメンバーである地域の方が、花や絵画を持ってきて飾ってくださる等、開設時からの関わりが継続されています。コロナ禍ではありますが、夏には地域の方をお呼びしての夏祭りの開催を考えたいとのことです。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	自治会長や民生委員・地域の方へ向け認知症対応型施設であることを説明・理解して理解をいただける機会を設けている。現在はコロナウイルス感染状況により地域との交流は極力控えている。	自治会長や民生委員・地域の方へ向け認知症対応型施設であることを説明・理解して理解をいただける機会を設けている。現在はコロナウイルス感染状況により地域との交流は極力控えている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	新型コロナの感染予防の為、書面開催を行っている。毎回アンケートを実施し意見をいただき運営に反映されている。	新型コロナの感染予防の為、書面開催を行っている。毎回アンケートを実施し意見をいただき運営に反映されている。	書面での開催であり、会議の中から特出した意見や要望は見られないとのことです。コロナ禍の中では対面での開催は難しいようです。運営推進会議には別法人のGH「あいの家」の管理者が委員として加わっています。相互に推進会議の委員を担うことで情報交換が行われ、運営に反映されています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	毎月、利用者様および待機者の報告をしている。運営についての相談や、事故の報告を行っておりサポートしていただいている。	毎月、利用者様および待機者の報告をしている。運営についての相談や、事故の報告を行っておりサポートしていただいている。	市町村とは電話や書面による事故報告や、介護保険に係る情報交換が行われており、多義にわたってサポートを頂いています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	2か月に一度身体拘束廃止委員会を開催しており、話し合いを行っている。事例検討や会社のテキストによる勉強会も継続して行っている。身体拘束禁止に関する指針を事業内に掲示し職員への周知と意識を高める取り組みも継続して行っている。	2か月に一度身体拘束廃止委員会を開催しており、話し合いを行っている。事例検討や会社のテキストによる勉強会も継続して行っている。身体拘束禁止に関する指針を事業内に掲示し職員への周知と意識を高める取り組みも継続して行っている。	身体拘束については拘束に至る状況を作らないことを念頭に、散歩を取り入れストレスを溜め込まず、穏やかに過ごせるケアに取り組んでいます。やむを得ず身体拘束をしなければならない際のマニュアルは整備されています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	事項と同様に虐待防止委員会を2か月に一度話し合いを行い、職員への意識向上への取り組みも継続して行っている。	事項と同様に虐待防止委員会を2か月に一度話し合いを行い、職員への意識向上への取り組みも継続して行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修を行い知識を深め、業務の中に活用できるようにしていきたい。	研修を行い知識を深め、業務の中に活用できるようにしていきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時や退去時にご家族に十分な説明を行い、理解をしていただいております。	契約時や退去時にご家族に十分な説明を行い、理解をしていただいております。		

自己評価および外部評価結果

事業所名 **ツクイ甲府富士見グループホーム**

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(雅)	ユニット名(華やぎ)	実践状況	
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口を本社・事業所に設けております。契約時には市町村・国保連の相談窓口の案内をしており、当事業所に直接意見などを伝えていただけるような関係性作りに努めています。	苦情相談窓口を本社・事業所に設けております。契約時には市町村・国保連の相談窓口の案内をしており、当事業所に直接意見などを伝えていただけるような関係性作りに努めています。	事業所の苦情相談窓口の他に、本社にはお客さん相談窓口が設置されており、苦情に対しては会社、事業所と窓口を設けて対応しています。家族からはオムツ販売の明細に関しての指摘があり、改善できています。	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月実施しているミーティングの中で意見や提案を一人一人が言えるような環境作りをしています。その中で出た意見や提案をケアに反映できるような取り組みをしています。	毎月実施しているミーティングの中で意見や提案を一人一人が言えるような環境作りをしています。その中で出た意見や提案をケアに反映できるような取り組みをしています。	職員の働き方についてはシフト、時間、休暇等で一人ひとりの状況に応じた配慮がなされており、職員が安心して継続的に勤められる環境が整っています。毎年契約更新時には管理者と職員との面談が行われ、管理者より課題についてのサポートがなされています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員のライフスタイルに合わせ勤務時間や希望休に配慮した勤務表作成を心がけています。資格手当の支給や資格取得に関するサポート制度もあり、職員が向上心を持って仕事に臨めるよう努めています。	職員のライフスタイルに合わせ勤務時間や希望休に配慮した勤務表作成を心がけています。資格手当の支給や資格取得に関するサポート制度もあり、職員が向上心を持って仕事に臨めるよう努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内外の研修や行政の研修の案内を職員に周知し、受講ができるように務めています。また事業所内において会社の定期研修をミーティングなどを活用し月に一回行っています。	社内外の研修や行政の研修の案内を職員に周知し、受講ができるように務めています。また事業所内において会社の定期研修をミーティングなどを活用し月に一回行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他者と合同説明会を開催したり運営推進会議に参加して頂いています。他者と合同作品展を行い新型コロナウイルスの感染予防を意識しながら交流しています。	他者と合同説明会を開催したり運営推進会議に参加して頂いています。他者と合同作品展を行い新型コロナウイルスの感染予防を意識しながら交流しています。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	担当職員が自宅や施設に伺い、ご本人やご家族から希望や困っている事などニーズの抽出を行っています。不安なく生活が送れるように職員が寄り添い支援をしております。	担当職員が自宅や施設に伺い、ご本人やご家族から希望や困っている事などニーズの抽出を行っています。不安なく生活が送れるように職員が寄り添い支援をしております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前にご本人やご家族の思いや希望を伺い思いに沿えるように努めています。入居してからもこまめな連絡や日々の様子を報告しています。特に入居された翌日には、ご家族が安心できるような様子を伝えるように心がけています。	入居前にご本人やご家族の思いや希望を伺い思いに沿えるように努めています。入居してからもこまめな連絡や日々の様子を報告しています。特に入居された翌日には、ご家族が安心できるような様子を伝えるように心がけています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人・ご家族との情報の中から支援に必要な部分の見極めやご本人が生活の中でできる事・行っている事を継続していき、グループホームの生活の中でさらにできる事を増やしていけるような支援をしています。	ご本人・ご家族との情報の中から支援に必要な部分の見極めやご本人が生活の中でできる事・行っている事を継続していき、グループホームの生活の中でさらにできる事を増やしていけるような支援をしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活の中で掃除などの家事や散歩などご本人にできる事を行い、細かな声掛けや交流を図っています。	生活の中で掃除などの家事や散歩などご本人にできる事を行い、細かな声掛けや交流を図っています。		

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己評価および外部評価結果

事業所名 **ツクイ甲府富士見グループホーム**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(雅)	ユニット名(華やぎ)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時は新型コロナウイルスの感染予防に重きをおきながらもご家族と過ごす時間を大切にしています。電話で生活の様子をこまめに伝えたり毎月ご本人の写真付きのお便り渡すことも大事にし継続しています。	面会時は新型コロナウイルスの感染予防に重きをおきながらもご家族と過ごす時間を大切にしています。電話で生活の様子をこまめに伝えたり毎月ご本人の写真付きのお便り渡すことも大事にし継続しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	新型コロナウイルスの感染予防に努めながら馴染みの方との面会は行っています。外出は感染のリスクから自粛しています。	新型コロナウイルスの感染予防に努めながら馴染みの方との面会は行っています。外出は感染のリスクから自粛しています。	利用者の中には、詩吟の友人が窓越しの面会に訪れているとのことです。今後もコロナ禍の中で外出や面会、イベントへの参加は難しいですが、コロナ感染状況を見守りながら家族との外出や外泊、地域との馴染みな関係づくりを設けていきたいとの話を管理者より伺いました。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様が孤立しないで、有効な関係を築いていけるよう職員が細かく関わりながら交流ができています。	入居者様が孤立しないで、有効な関係を築いていけるよう職員が細かく関わりながら交流ができています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去されてもご家族や地域の相談窓口として役割ができるよう関係を大切にしています。	退去されてもご家族や地域の相談窓口として役割ができるよう関係を大切にしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	計画作成担当者のモニタリングをもとに、職員全員でその方の情報共有・把握に努めています。カンファレンスで生活の中で新たに見えてきた事を検討・把握するようにしています。	計画作成担当者のモニタリングをもとに、職員全員でその方の情報共有・把握に努めています。カンファレンスで生活の中で新たに見えてきた事を検討・把握するようにしています。	入居時には、不安や家に帰りたいとの思いを抱く利用者が多くみられましたが、入居後は一人ではないとの安心感から生活に落ち着きが見られているとの話を伺いました。意思表現の難しい利用者についてはミーティング、カンファレンス、伝達シートを活用して思いの受け止めに取り組んでいます。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初回の面談時にご本人の生活歴をご本人・ご家族・CMなどから情報収集しています。入居後もご本人様との交流の中から理解を深めていけるように努めています。	初回の面談時にご本人の生活歴をご本人・ご家族・CMなどから情報収集しています。入居後もご本人様との交流の中から理解を深めていけるように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1日のご本人の様子や行動の把握を行い申し送りなどで情報を共有しています。また、ミーティングの中でも情報交換などを行っています。	1日のご本人の様子や行動の把握を行い申し送りなどで情報を共有しています。また、ミーティングの中でも情報交換などを行っています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成担当者を中心に3か月ごとにモニタリングを行っており、その中でご本人・ご家族の思いを大事にしながら職員間で検討を行っています。	計画作成担当者を中心に3か月ごとにモニタリングを行っており、その中でご本人・ご家族の思いを大事にしながら職員間で検討を行っています。	現場の職員、管理者、ケアマネがチームとなって、介護計画に至るまでのモニタリングやカンファレンスを実施しています。急な介護プランの見直し変更のケースはありませんが、入退院時の状態の変化の際にはカンファレンスを経てプランの変更がなされています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践、結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、個々のケアプランに沿った記録を残しています。その記録をモニタリングやカンファレンス時の参考にしています。	毎日、個々のケアプランに沿った記録を残しています。その記録をモニタリングやカンファレンス時の参考にしています。		

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己評価および外部評価結果

事業所名 ツクイ甲府富士見グループホーム

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(雅)	ユニット名(華やぎ)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	福祉用具などの他のサービスと連携しご本人やご家族の要望に応えられるように努めています。	福祉用具などの他のサービスと連携しご本人やご家族の要望に応えられるように努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方から絵画をお借りしフロアなどに飾り鑑賞しています。また、定期的に花もいただき生け花や水やりを楽しんでいただいています。	地域の方から絵画をお借りしフロアなどに飾り鑑賞しています。また、定期的に花もいただき生け花や水やりを楽しんでいただいています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	ご本人・ご家族の希望・要望に沿って往診や必要な受診を行っています。その際に日ごりの様子を伝え情報共有に努めています。	ご本人・ご家族の希望・要望に沿って往診や必要な受診を行っています。その際に日ごりの様子を伝え情報共有に努めています。	入居の際に協力医の受診の説明をされていますが、多くの利用者はかかりつけ医を継続されています。一方、遠方からの利用者については、家族の意向で協力医に変更されるケースもあるようです。緊急時には協力医による往診や他の医療機関への受診が行われています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している	24時間対応の医療連携体制を整え、看護師が定期的に健康管理を行っています。バイタルチェック・薬に関する相談。排泄・食事の状況についても相談しています。容態の急変時には緊急対応して頂き、オンコール体制を整えています。	24時間対応の医療連携体制を整え、看護師が定期的に健康管理を行っています。バイタルチェック・薬に関する相談。排泄・食事の状況についても相談しています。容態の急変時には緊急対応して頂き、オンコール体制を整えています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時には、同行し必要な情報提供をしています。入院中の経過は電話で病院の連携室や看護師・ご家族に話を聞き把握に努めています。退院時にはサマリーを参考にグループホームで不安なく安全に生活ができるようにしています。	入院時には、同行し必要な情報提供をしています。入院中の経過は電話で病院の連携室や看護師・ご家族に話を聞き把握に努めています。退院時にはサマリーを参考にグループホームで不安なく安全に生活ができるようにしています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に重度化した場合のグループホームでの対応について、ご家族に説明し同意を得ています。日頃よりご家族・主治医などと情報共有・連携に努めています。	契約時に重度化した場合のグループホームでの対応について、ご家族に説明し同意を得ています。日頃よりご家族・主治医などと情報共有・連携に努めています。	契約時には看取りについての説明を行い、家族による同意を頂いています。看取りを基本としていますが、常時医療的ケアが必要になった利用者には、家族や関係機関との話し合いを経て他の機関に繋げています。看取りを実施した際は、家族にも最期を看取っていただくなど、家族と共に利用者を支える体制がとられています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事業所内で行う研修や看護師からの指導を行っています。緊急連絡先や緊急時の対応のフォローを掲示しています。	事業所内で行う研修や看護師からの指導を行っています。緊急連絡先や緊急時の対応のフォローを掲示しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地震・火災を想定した訓練を年に2回行っています。日中・夜間を想定してすべての職員が対応できるよう行っています。	地震・火災を想定した訓練を年に2回行っています。日中・夜間を想定してすべての職員が対応できるよう行っています。	事業所の立地場所は洪水の警戒区域になっており、洪水に対応した訓練を実施しています。避難場所は法人が運営する15分ほど離れたデイサービス事業所としています。二次避難所は行政の指定する場所としています。避難訓練は、当日勤務職員と参加できる職員により実施されています。BCPも作成されていますが、地域との災害時の協力体制は明らかになっていないようですので検討を願います。	災害時における地域との相互協力体制について話し合っていたり、明文化されたものがあると安心・安全が担保されるものと思います。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様一人一人の尊重をしていく事に重きをおき、言葉使いなどには注意して接しています。	入居者様一人一人の尊重をしていく事に重きをおき、言葉使いなどには注意して接しています。	事業所では特に排泄時の対応として、パットを見えるところに置かない、持ち歩かない、排泄に関する言葉発しない点に重きをおいて支援しています。利用者一人ひとりが守ってほしいプライバシーを、職員間で共有し尊重した支援が行われています。	

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己評価および外部評価結果

事業所名 ツクイ甲府富士見グループホーム

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(雅)	ユニット名(華やぎ)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の意思を尊重数するケアを心がけています。入居者様が自己決定ができる支援に努めています。	ご本人の意思を尊重数するケアを心がけています。入居者様が自己決定ができる支援に努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	ご本人のペースでグループホームでの生活していけるよう支援しています。お休みの時間などもご本人に聞きながら支援しています。	ご本人のペースでグループホームでの生活していけるよう支援しています。お休みの時間などもご本人に聞きながら支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2か月に1度美容師がカットに来所しています。その際、ご本人の希望を尊重して頂いています。外出時にはご本人に服を選んでいただくなどの配慮も心がけています。	2か月に1度美容師がカットに来所しています。その際、ご本人の希望を尊重して頂いています。外出時にはご本人に服を選んでいただくなどの配慮も心がけています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お食事の時は、入居者様に調理や盛り付けなどのお手伝いをして頂いています。食後も食器洗いや食器拭きを一緒に行っています。パンやうどん作りなど入居者様に希望を聞いて楽しんでいただいています。	お食事の時は、入居者様に調理や盛り付けなどのお手伝いをして頂いています。食後も食器洗いや食器拭きを一緒に行っています。パンやうどん作りなど入居者様に希望を聞いて楽しんでいただいています。	食事は会社が運営する全ての事業所に共通したマニュアルに基づき調理されており、誰でも調理に携われる仕組みになっています。特別職の方には内容を保ちながら見た目の良い容器を使い対応しています。利用者の希望の献立を導入して、利用者と職員と一緒に作る楽しみの場を提供しています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の食事量・水分量を記入し把握しています。個々に合わせた食事形態を行っています。必要に応じ常食だけでなくソフト食・栄養保持食品を使用するなど対応しています。	個々の食事量・水分量を記入し把握しています。個々に合わせた食事形態を行っています。必要に応じ常食だけでなく栄養保持食品を使用するなど対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後に歯磨きをして頂けるよう口腔ケアの支援も行っています。必要のある方は歯科と連携し定期的なケアを行っています。	食後に歯磨きをして頂けるよう口腔ケアの支援も行っています。必要のある方は歯科と連携し定期的なケアを行っています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄のチェック表を用いて、トイレでの排泄ができるように時間での誘導や声掛けを行い失敗を減らす支援をしています。失敗のなくなった方は布パンツに変更するなど自立に向けた支援をしています。	排泄のチェック表を用いて、トイレでの排泄ができるように時間での誘導や声掛けを行い失敗を減らす支援をしています。失敗のなくなった方は布パンツに変更するなど自立に向けた支援をしています。	排泄についてはリハビリから布パンツが可能な利用者については積極的に変更していく取り組みを行い、排泄の自立支援に力を注いでいるとの話を管理者より伺いました。夜間のトイレ支援については、職員の排泄のタイミングと同時に利用者の動きをセンサーにより察知し、トイレ誘導が行われています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ヤクルトや乳製品、多めの水分摂取を促しています。毎日の散歩や体操する事で自然排便ができるよう心掛けています。	ヤクルトや乳製品、多めの水分摂取を促しています。毎日の散歩や体操する事で自然排便ができるよう心掛けています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそって支援をしている	入浴日は決めておらず、ご本人の希望や体調に配慮した入浴支援をしています。	入浴日は決めておらず、ご本人の希望や体調に配慮した入浴支援をしています。	入浴は週に2日あるいは3日を目標に利用者の希望や体調に合わせた支援が行われています。入浴を拒否される利用者はいないとのことですが、拒否が見られた際の対応はいくつか考えられ用意されています。入浴介助は利用者の希望を加味して、同性介助で実施しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜にしっかりと休むことができるよう日中に外気欲や散歩・体操など活動的に過ごせるように支援をしています。	夜にしっかりと休むことができるよう日中に外気欲や散歩・体操など活動的に過ごせるように支援をしています。		

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己評価および外部評価結果

事業所名 ツクイ甲府富士見グループホーム

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(雅)	ユニット名(華やぎ)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の花薬局と連携しています。薬は薬剤師にセットして頂いており、不明な点などは薬剤師に相談・確認をしております。薬の情報は職員間で共有できるようにしています。	薬の花薬局と連携しています。薬は薬剤師にセットして頂いており、不明な点などは薬剤師に相談・確認をしております。薬の情報は職員間で共有できるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様一人一人のできる事や好きな事・得意な事ができるような支援をしています。生け花や花の手入れ・裁縫などもしていただいています。散歩や日常の役割を担っていただいています。	入居者様一人一人のできる事や好きな事・得意な事ができるような支援をしています。生け花や花の手入れ・裁縫などもしていただいています。散歩や日常の役割を担っていただいています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	希望を聞きながら職員が付き添い散歩に出かけています。庭の手入れや花の水やりも行って頂いています。	希望を聞きながら職員が付き添い散歩に出かけています。テラスで日光浴を兼ねお茶会を開いています。	コロナ禍により散歩をメインに実施しています。利用者の状態によって河原の土手コースを歩いたり、駐車場を歩いたり様々な散歩コースを楽しんでいます。何日かに分けて少人数で、車による外出の機会を設けています。春には夜桜を見に行ったり、夏には夜間に蛍を見に行ったりと、コロナ感染に注意しながらの外出を楽しまれています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	法人の規定により、事業所に現金を置いていけないことになっています。買い物のご希望があった場合はご家族に承諾を得て事業所の立替で購入しています。	法人の規定により、事業所に現金を置いていけないことになっています。買い物のご希望があった場合はご家族に承諾を得て事業所の立替で購入しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	知人の方からのお手紙を届けたり、ご家族からの電話をつなぎお話をしております。	知人の方からのお手紙を届けたり、ご家族からの電話をつなぎお話をしております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日中は居室で過ごす方も少なく、フロアで過ごす事が多いです。外の景色を眺められるようテーブルを窓の近くに設置しています。テレビの前にはソファを置きみんなでテレビが観られる環境を作っています。	日中は居室で過ごす方も少なく、フロアで過ごす事が多いです。外の景色を眺められるようテーブルを窓の近くに設置しています。テレビの前にはソファを置きみんなでテレビが観られる環境を作っています。	共有空間では利用者が心地よく過ごせるように話のできる利用者の席を配慮したり、テレビが見たい利用者のための机やソファの配置を工夫しています。共用空間のスペースは広く設計されており、歩行器や車いすの利用者が安全に移動できるようになっています。管理者より、玄関にはいつも花が飾られているとの話を伺いました。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	席の配慮を行い、会話を楽しめたり、一緒にテレビを観る時間以外に一人で好きな事ができるような空間作りを心がけています。	席の配慮を行い、会話を楽しめたり、一緒にテレビを観る時間以外に一人で好きな事ができるような空間作りを心がけています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で使用していた物や馴染み深い物を入居時に持参して頂いております。ご家族からのプレゼントや写真を居室に飾り、居心地よく過ごして頂けるよう心がけています。	ご自宅で使用していた物や馴染み深い物を入居時に持参して頂いております。ご家族からのプレゼントや写真を居室に飾り、居心地よく過ごして頂けるよう心がけています。	利用者には出来るだけ使い慣れたものを持ち寄っていただくために、事業所ではベッドのみの設置としています。利用者はタンスやテレビをはじめ、仏壇や位牌を持ち込まれている方がいます。利用者が持ち込まれる家族写真やご本人が輝いていたころの写真は職員と相談して、見えやすい所にレイアウトして飾っています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物全体がバリアフリーになっています。IHの使用なので火の元の心配はありません。手すりはフロアやトイレ玄関など必要な場所に設置しています。居室には表札、トイレや浴室にも目印を設けてあるので迷う事無く行き来ができるようになっています。	建物全体がバリアフリーになっています。IHの使用なので火の元の心配はありません。手すりはフロアやトイレ玄関など必要な場所に設置しています。居室には表札、トイレや浴室にも目印を設けてあるので迷う事無く行き来ができるようになっています。		